

# その景色を収益化

## AI搭載の観光望遠鏡

DXスコープ

DXスコープ（今井丈

雄社長、東京都品川区）

は1月中旬、美しい風景をその場で保存・発信できるといふ「ありそつでなかつた機能」を備えたスマート観光望遠鏡「DXscope」を発売する。収益向上や集客を期待できるといふ新商品だ。

展望台にあるコイン式

望遠鏡の進化版が、年始めに登場する。「絶景をスマホに保存」「風景解説も表示」「キャッシュレス決済を」——DXscopeは、そんな声に応える。

望遠機能は、倍率40倍の光学ズームレンズと高精度のオートフォーカス

を搭載。接眼レンズでは

なく、デジタルデータとして映し出されるモニターを見る設計だ。通信機能も備えているので、観た景色はその場でクラウド上に保存でき、モニターに表示されるQRコードからスマホに取り込める。

利用者目線では、さながらDXscopeという高性能スマホカメラを手に、写真や動画撮影を楽しむイメージだろうか。自身のSNSで絶景をシェアするなど、楽しみも膨らみそつだ。

設置場所から見られる建物や景色を事前に登録

することで、リアルタイムでテキストによる風景

解説を表示できるほか、デジタルサイネージ広告も表示できる（いずれもオプション）。利用料の支払いはQR決済やクレジット決済に対応する。

価格は1台54万5千円。場所により前後するが設置費込みで60万円程度と、既存製品との比較でも安価に抑えた。

「日本全国の景色をその場で収益化する革新的なツールは、『感動できる』『記録できる』『共有できる』最強クラスの観光大使です」（同社）とPRする。【鈴木 克範】



観光地の望遠鏡が大きく進化